

今年も厳しい暑さが続き、連日のように最高気温がニュースで報じられています。さて、山口県で一番暑いのはどこでしょう？ 盆地にある山口市を思い浮かべる人も多いかもしれませんが、統計上はどうでしょうか。

近年は、広瀬（岩国市）で年間の県内最高気温が観測される年が続いています。今年は8月3日に玖珂（岩国市）で39.7度、山口（山口市前町）と広瀬で39.4度を観測するなど、県内各地で記録的な暑さとなっています。こうして見ると、「山口県で一番暑い場所」は意外と一言では答えられません。

グラフは、近年の山口、広瀬、玖珂の最高気温の推移を示したものです。山間部にある広瀬でも、山口と同じかそれ以上の気温を記録する年があることが分かります。山間部というと涼しい印象がありますが、データを見ると必ずしもそうとは限らないことが分かります。

私たちは経験や印象で物事を判断しがちですが、統計を見てみると違った姿が見えてくることがあります。山口県の暑さもその一つです。身近な出来事を数字で確かめてみることも、統計の楽しみ方の一つです。

こうした気象データは、気象庁のホームページ（HP）で公開されています。また、県HPで公開している「山口県統計年鑑」でも見るすることができます。年鑑では、県内各観測地点の気温や降水量などの月別データを掲載しています。

夏休みの自由研究として、お住まいの地域の気象の特徴や、その理由を調べてみるのも面白いかもしれません。数字の向こうには、山口県の意外な一面が隠れているかもしれませんね。

